

科目名	Advanced Studies in Global Sociology	授業形態	講義(主)・演習(併用)
日本語科目名	グローバル社会学特講	開講学期	後期
対象学年	1年次	単位数	2単位
代表教員	太田 有子/OTA, Ariko	ナンバリング	SOC501
担当教員	太田 有子/OTA, Ariko		
授業概要			
全体内容	<p>本授業では、社会学分野における主要な概念・理論への理解を深め、グローバル社会を理解するためのアプローチを検討し、現代社会における諸現象・事例の分析を行う。</p> <p>社会学分野の先行研究・方法論をふまえつつ、グローバル社会を分析する視点を涵養し、グローバリゼーションをめぐる多様な見解について理解し、グローバル社会における諸現象の分析を通じて、グローバリゼーションの影響やグローバル社会の諸課題について考察する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会学分野の主要な概念・理論を理解する。</li> <li>2. 社会学および隣接分野のグローバル社会に関する先行研究にふれるとともに、グローバリゼーションをめぐる議論の内容を理解する。</li> <li>3. グローバル社会の諸課題に対して理解を深め、社会学分野の先行研究とアプローチをふまえて、特定の事象を分析する。</li> </ol>		
授業の位置づけ	専門科目 (グローバルコミュニケーション研究領域), 選択科目		
ディプロマ・ポリシー, コンピテンシーとの関連	ディプロマ・ポリシーのうち、「知識と理解 (DP1)」「知識と理解の活用 (DP2)」「判断力 (DP3)」に関連している。		
履修上の注意, 履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部にて社会学分野の関連科目を既に履修していることが望ましい。</li> <li>・未履修の学生については、別途、自習用の文献を推奨する。</li> <li>・この科目の主たる使用言語は英語です。授業中の使用言語を英語とし、提出課題やレポート試験も特段の指示がない限り英語で解答を求めます。</li> </ul>		
成績評価の方法			
評価方法	<p>小レポート (Short Report) : 20%</p> <p>最終レポート (Final Report) : 50 %</p> <p>授業における議論への参加・貢献 (Class Participation) : 30%</p>		
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小レポート：課題トピックに関連して文献のレビューとして文献概要と自身の分析・見解を明示している。</li> <li>・最終レポート：関連テーマについて社会学分野の先行研究に言及し、自身の分析・見解を明示している。</li> <li>・議論：授業内の議論において積極的に発言していること。</li> </ul>		
試験・課題等に対するフィードバック方法			
授業および J-passport にて行う。			

テキスト				
参考文献				
Cohen, Robin and Paul Kennedy. 2013. <i>Global Sociology</i> . New York: New York University Press. 3 <sup>rd</sup> Ed.				
Martell, Luke. 2017. <i>The Sociology of Globalization</i> . Cambridge: Polity, 2 <sup>nd</sup> Ed.				
その他				
連絡先・オフィスアワー		連絡先：メールアドレス ( <a href="mailto:aota@juntendo.ac.jp">aota@juntendo.ac.jp</a> ) まで オフィスアワー：(木) 16:30~17:00		
担当教員の実務経験		なし		
備考		学修時間の割当：講義 (70%), 演習 (30%)		
授業計画				
授業回	担当者	授業内容	授業方法※	予習・復習・レポート課題等と学習時間
1	太田 有子/ OTA, Ariko	グローバル社会学とは 社会学発展の歴史的経緯と 現在	講義	[予習] 過去に履修した社会学の学習内容, テキストを参照し, 本授業のテーマとの関連事項をまとめる。(120分)  [復習] 社会学発展の歴史においてグローバルな視点が生じた経緯・先行研究についてまとめる。(120分)
2	太田 有子/ OTA, Ariko	グローバリゼーションと社会変動	講義	[予習] グローバリゼーションをめぐる議論に関する先行研究を1点選択し, 概要をまとめる。(120分)  [復習] グローバリゼーションをめぐる学術的動向について理解し, 概要をまとめる。(120分)
3	太田 有子/ OTA, Ariko	グローバリゼーションと国家	講義, 討議	[予習] 社会科学・社会学分野の国家に関する先行研究1点を選択し, 概要をまとめ

				る。(120分) [復習] 授業で紹介した研究者の学説とグローバル化に伴う国家の役割の変化について具体的事例を挙げて検討する。(120分)
4	太田 有子/ OTA, Ariko	グローバル化と文化	講義, 討議	[予習] グローバリゼーションと文化をめぐる議論に関する先行研究1点の概要をまとめ, 事例を調べる。(120分) [復習] 授業で紹介した研究者の学説とグローバル化の文化面の影響を検討する。(120分)
5	太田 有子/ OTA, Ariko	国際人口移動 I 世界の国際人口移動の現況	講義	[予習] 国際人口移動の概況とともに先行研究について調べる。(120分) [復習] 授業で紹介した先行研究を具体的な事象から検討する。(120分)
6	太田 有子/ OTA, Ariko	国際人口移動 II 日本の国際人口移動 現状と課題	講義, 討議	[予習] 日本社会の現状とともに先行研究について調べる。(120分) [復習] 授業で紹介した先行研究を具体的な事象から検討する。(120分)
7	太田 有子/ OTA, Ariko	国際人口移動 III 地域コミュニティにおける多文化共生	講義, 討議	[予習] 課題文献を精読の上, 地域の多文化共生の事例を調べる。(120分) [復習] 先行研究・事

				例をふまえて、特定地域の事例について現状と課題についてまとめる。(120分)
8	太田 有子/ OTA, Ariko	グローバル社会の格差 I 社会学研究について	講義	[予習] 課題文献を精読し、まとめる。(120分) [復習] 授業で紹介した先行研究を具体的な事例とともに検討する。(120分)
9	太田 有子/ OTA, Ariko	グローバル社会の格差 II 世界情勢と現状分析	講義, 討議	[予習] 課題文献と共に先行研究の文献1点を精読し、概要をまとめる。(120分) [復習] グローバリゼーションの経済・社会的影響を特定の事例を通じて分析し、授業で紹介した先行研究について検証する。(120分)
10	太田 有子/ OTA, Ariko	グローバル社会の格差 III グローバリゼーションと日本社会	講義, 討議	[予習] 課題文献・先行研究の文献を精読し、概要をまとめる。(120分) [復習] グローバリゼーションの経済・社会的影響を特定の事例を通じて分析し、授業で紹介した先行研究について検証する。(120分)
11	太田 有子/ OTA, Ariko	環境問題 I 環境ガバナンスとは	講義	[予習] 課題文献を精読し、概要をまとめる。(120分) [復習] 環境をめぐるガバナンスについて特定の事例を調べる。(120分)

12	太田 有子/ OTA, Ariko	環境問題 II 資源と持続可能性	講義, 討議	[予習] 課題文献・先行研究の文献を精読し, 概要をまとめ, 関連事例について調べる。(120分) [復習] 資源の持続可能性について特定の事例の現状と課題について分析する。(120分)
13	太田 有子/ OTA, Ariko	環境問題 II 環境と市民	講義, 討議	[予習] 課題文献・先行研究の文献を精読し, 概要をまとめ, 関連事例について調べる。(120分) [復習] 環境ガバナンスに関する市民参画・協働の事例について分析する。(120分)
14	太田 有子/ OTA, Ariko	グローバル市民 グローバル社会における市民像	講義, 討議	[予習] 課題文献を精読し, 概要をまとめ, 関連事例について調べる。(120分) [復習] グローバル社会の公共性・ガバナンスと市民の役割について事例分析を行う。(120分)
15	太田 有子/ OTA, Ariko	まとめ 研究発表	講義, 発表	[予習] 本授業で扱った授業テーマ, 先行研究に関連する特定の事例を分析し, 報告準備を行う。(120分) [復習] レポートを作成する。(120分)

※ アクティブラーニングの要素を取り入れている場合, その内容を明記 (PBL, 反転授業, グループワーク, 討議, 発表等)